

応募団体		ひかりが丘自治会			
公園名称		ひかりが丘第1児童公園	ひかりが丘第2児童公園	ひかりが丘ふれあい公園	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	1237㎡	1006㎡	12749㎡
		公園種別	街区公園	街区公園	近隣公園
		公園開設	昭和58年5月（供用開始日 平成元年7月10日）		（供用開始日 平成元年4月）
	①地域の連携	地域団体	ひかりが丘自治会		
		ワークショップ参加予定人数	40名		
	②公園の課題解決	公園の問題点	●3つの公園は、開発時に設置され、同じ遊具などにより、同じタイプの公園である。 ●街びらきから約25年経過し、自治会内の少子高齢化により公園の利用状況も変化してきた。 ●公園利用の衛生・安全面から原則として公園内に犬を入れることを禁止している。しかし、公園内に自由に入れる場所を設けることも検討したい。 ●各公園の利用者の年齢層が異なることから、現在の同じタイプの公園を見直し、利用者のニーズにあった公園にしたいとの声が住民から高まっている。	●樹木・低木が多く、見通しも悪い。	●夏は日陰がないので子どもたちを遊ばせにくいとの声も大きい。
			●樹木・低木が多く、見通しも悪いこともあって、利用者が少なく、草を刈っても雑草が茂るといった悪循環。 ●利用が少ない公園に維持管理に負担だけかかっている状況。 ●ひかりが丘の玄関口で、バス停前という重要な場所にあるが、利用者が少なく、樹木や草が伸びているのは残念。		
		地域の皆さんと公園との関わり	●管理活動の取組み 自治会環境衛生部が中心になり、自治会員全員参加の年2回（5月、9月）一斉清掃を実施、草刈り機なども利用した草刈りなども同時に実施。 毎月2回（第1、3日曜日）自治会内の各班が順番に公園清掃を実施 毎月1回（第2日曜）ふれあいクラブ（老人会）が清掃実施		
			公園の利用	公園の利用	公園の利用
	③公園の育成	公園の施設などに対する希望	●利用状況等の現状から、現在同じタイプの3つの公園を「ひかりが丘全体のまちづくり」という視点から見直し、それぞれの公園に特色を持たせ、利用者のニーズにあったものにしたい。 ●現在の公園内の犬の散歩禁止についても、多くの愛犬家がいること、お年寄りや公園で犬が触れ合うことも癒しになるのではないかと意見もあることから、公園内に犬を自由に入れる場所を設けることも検討したい。	●遊具を無くす。 ●花壇を設ける。 ●お年寄りがゆっくりくつろげるような公園 ●ひかりが丘の入口にあり、ひかりが丘を訪れる人や住民に親しまれ、好印象を持っていただける公園にしたい。	●幼児が安心して遊べる公園にしたい。
●利用者が少ない			●主に幼児が保護者と一緒に利用	●毎年7月サマーフェスティバル（夏祭り）の実施 ●遊具のある場所は、幼児と保護者と少し年齢層の高い子どもが利用。 ●小広場は高齢者がゲートボールで利用	
公園の育成管理についての考え		●応募前に、子ども会が公園を利用に関するアンケートを実施し、また、公園周辺の住民、自治会役員で公園の現状について話し合った。それを基に今回応募することとした。 ●自治会では、公園を地域コミュニティをつなぐための重要な場所としてとらえ、住民が積極的に公園の管理に関わっていける体制をつくりたいと考えている。 ●昨年度に発足したガーデニング部も花づくりで参加したい。			
備考					

■審査のポイント

- ①地域連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある